

2025年11月14日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI 実績値の公表について

- 当組合は、農を基軸とした活動を通じて、地域・人・環境を創造し、心豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献することを経営理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さま（以下「お客さま」と称する）の安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

(注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

とうかつ中央農業協同組合

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3、6、7）補充原則1～5本文および（注）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り扱い、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末： 1)	6 (前年度末： 6)
株式型	3 (前年度末： 3)	5 (前年度末： 5)
REIT型	2 (前年度末： 2)	2 (前年度末： 2)
バランス型	7 (前年度末： 7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

➡コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>



※商品選定の考え方：JAバンクHP

https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi_sintaku/select/

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当JAは対面と非対面の融合による「3Q活動」の実践を通じて、新たな生活様式の浸透によるお客様の生活スタイル変化に対応した最良・最適な保障・サービスの提供をしております。
- がん治療は入院日数が短期化し、「入院治療」から「通院治療」へシフトしています。加えて薬物治療や在宅医療が増加傾向にあり、その費用も高額化したことを受け、新しいがん共済は今までの入院・手術等の保障に加え、通院治療・在宅医療や薬物治療も月額で包括的に保障し、がん治療にかかる収入減少などの経済的な負担に対応した保障へと生まれ変わりました。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は3月末時点で95.4%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客様の声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I .取組状況

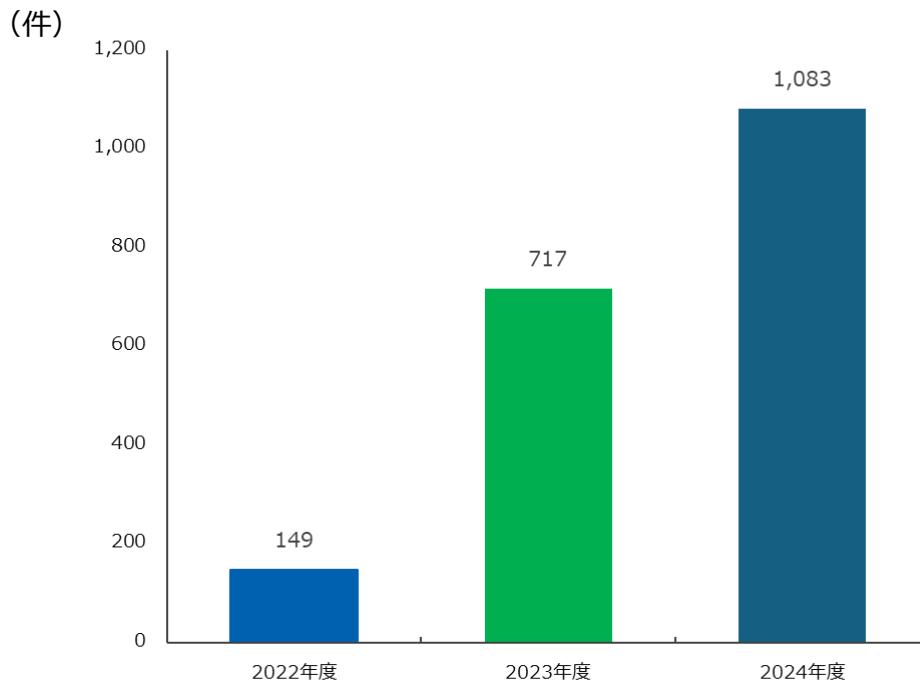
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

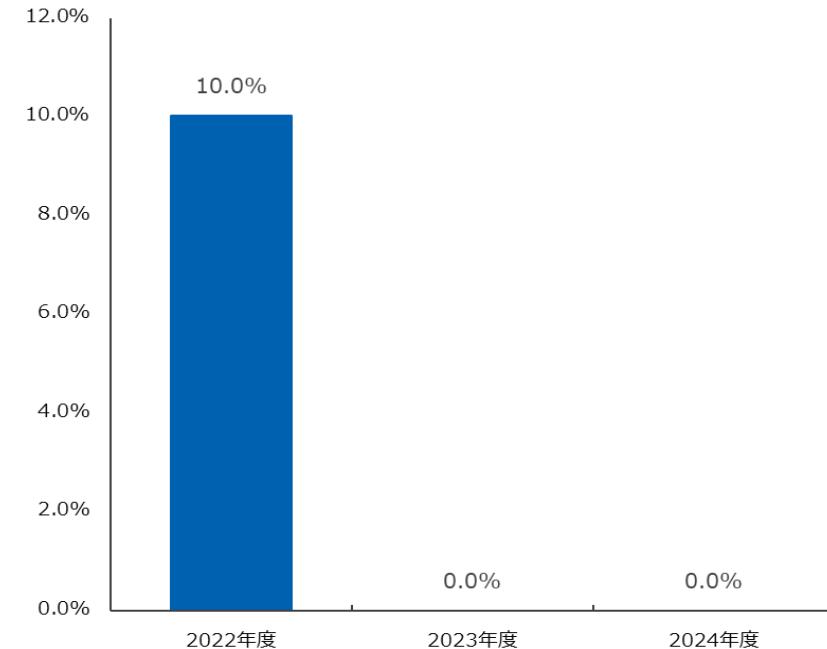
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、
原則6本文および(注1~7)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



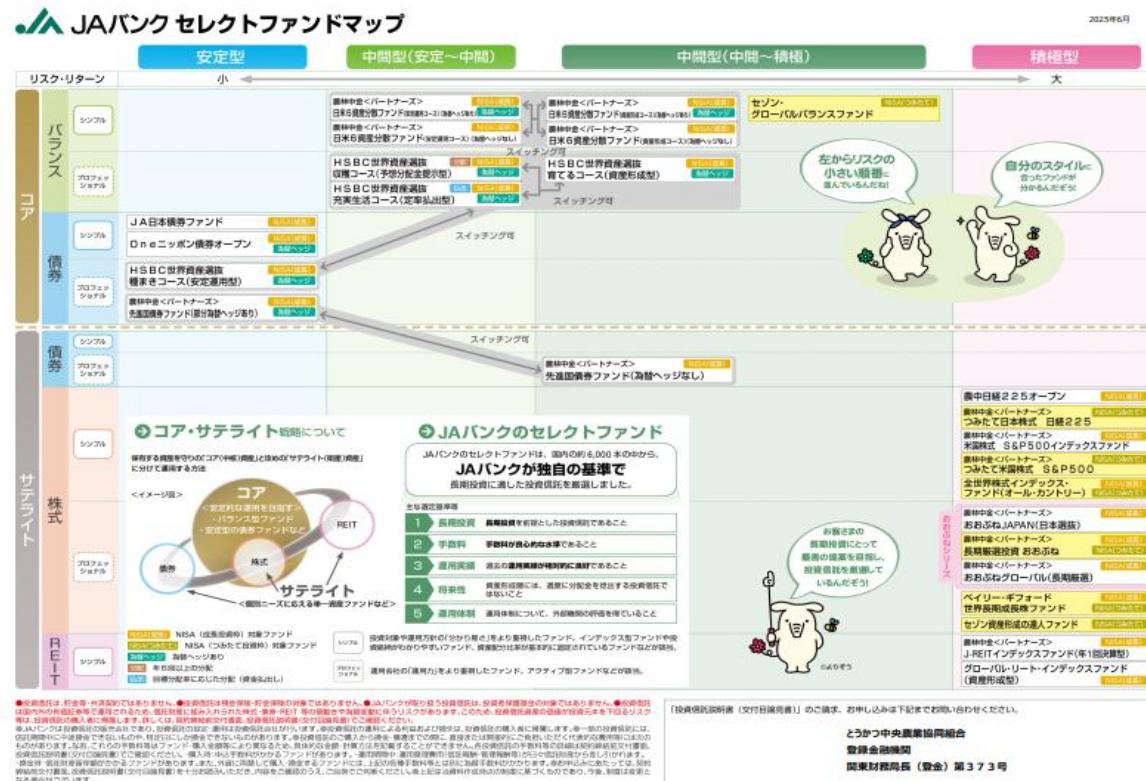
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

（1）信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- ・組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
 - ・なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

①共済仕組み・サービス・情報提供

- ・ 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、「3 Q活動」を通じ、JA独自の情報シート「気になるマップ」等を用いてお客さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・ お客さま一人ひとりのご意向に基づき、ひと・いえ・くるま・農業と生活環境リスクに対して、安心して備えられるよう公的保険制度等にかかる情報提供を通じて、最良・最適な共済の仕組み・サービスをお客さまの「意向把握・意向確認」をもって提供しております。
- ・ 各種手続きの実施にあたっては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、お客さまに分りやすいご説明を心掛けるとともに、ご相談に対して迅速に対応しております。

②高齢者対応

- ・ 親族の同席を原則としており、複数回の説明を行う等、きめ細やかな対応を行っております。
- ・ 高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和6年度、生命総合共済75.0%、建物更生共済70.5%となりました。
- ・ なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

I .取組状況

③各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ご加入後も定期的な訪問活動を通じて、適切な保障提供が行えているか確認するとともに、各種サービス情報の提供等、お客さまに寄り添った取組みを実施しております。
- ・保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまに手数料等はご負担いただいておりません。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・当組合では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しており、定期的に利益相反管理状況のモニタリングを実施することで、利益相反の未然防止に努めています。

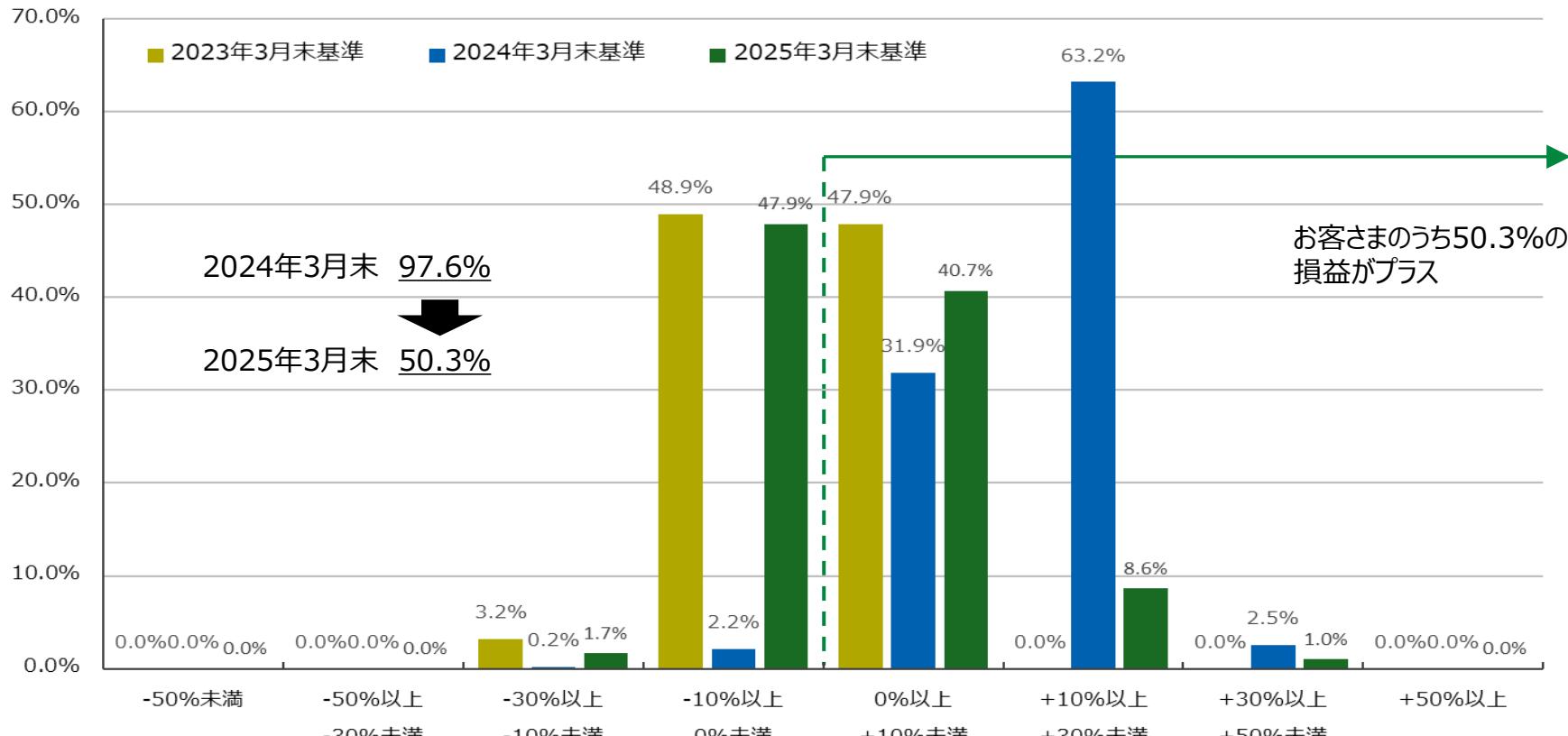
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- ・当組合では、高い専門性と誠実・公正な業務を行うことができる人材の育成に取組んでおり、各種研修や資格取得の推奨・支援を行ない、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の50.3%のお客さまの損益がプラスとなりました。

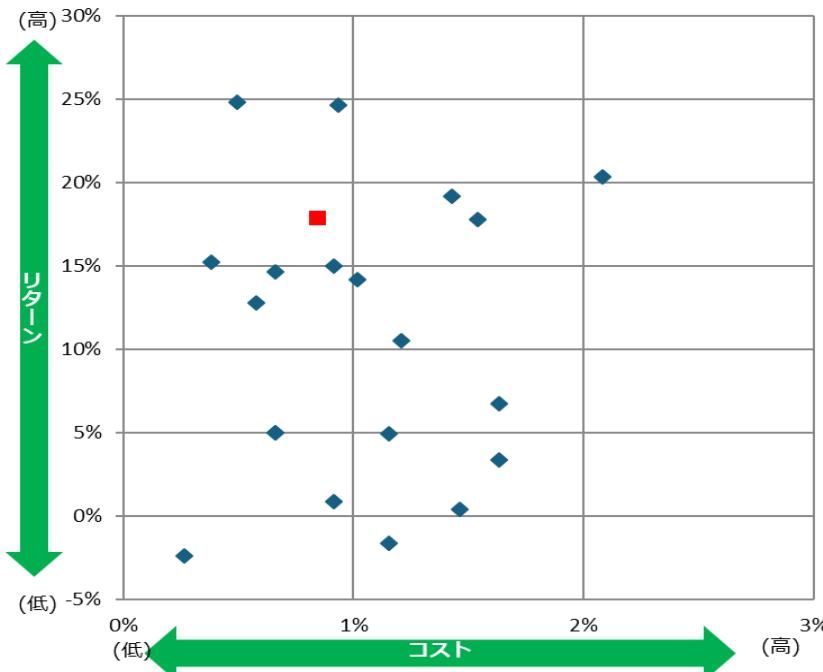


Ⅱ.比較可能な共通KPI

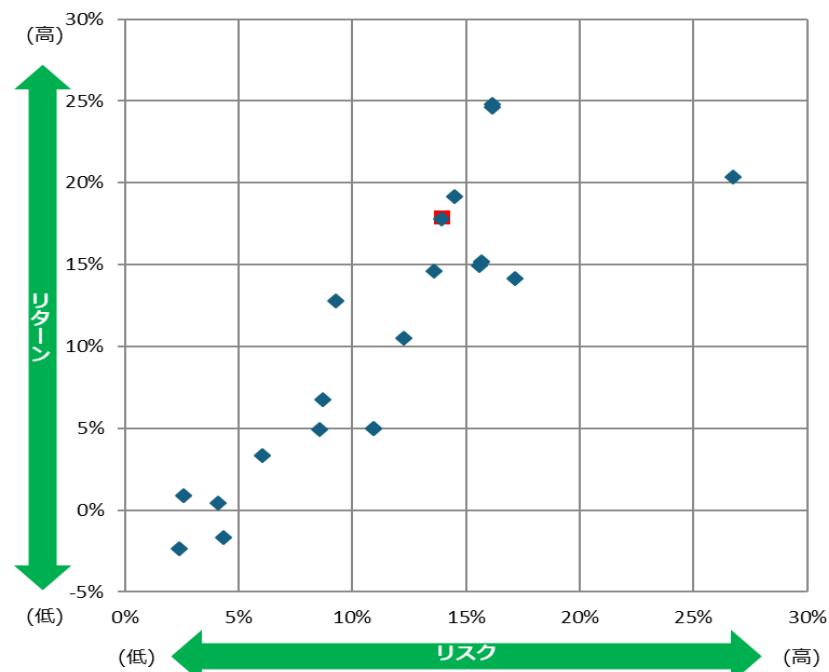
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.84%、平均リスク13.96%に対して、平均リターンは17.88%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

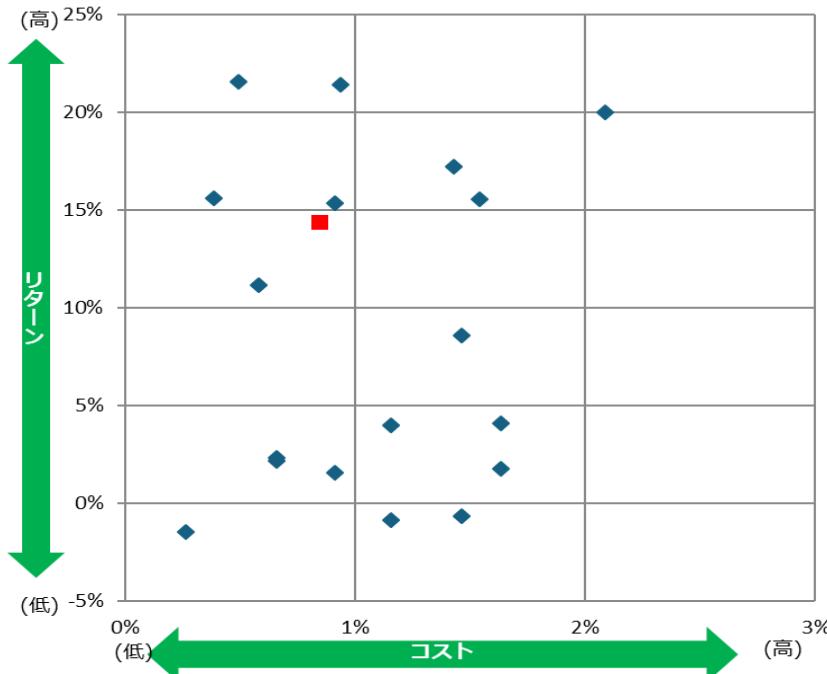
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通KPI

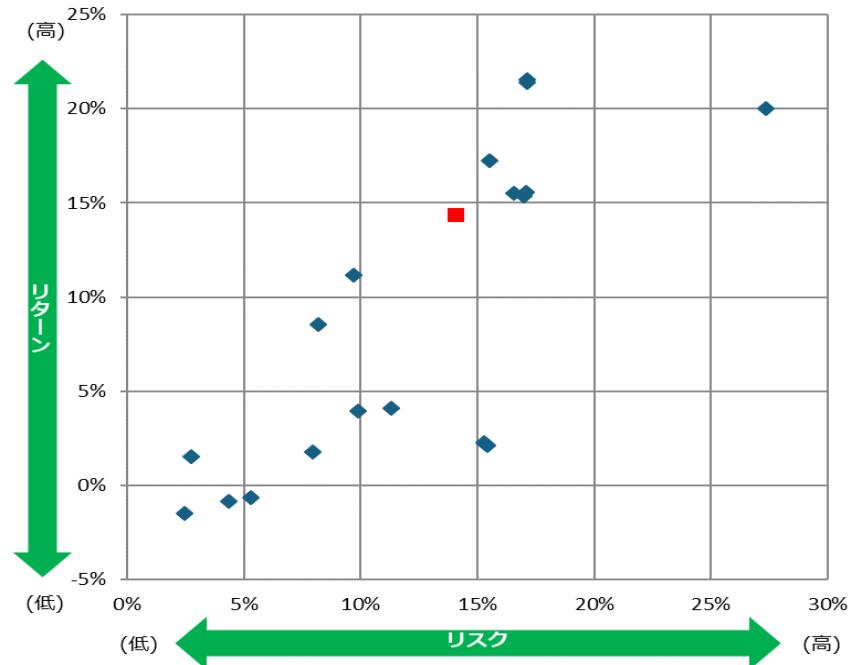
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.85%、平均リスク14.06%に対して、平均リターンは14.34%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

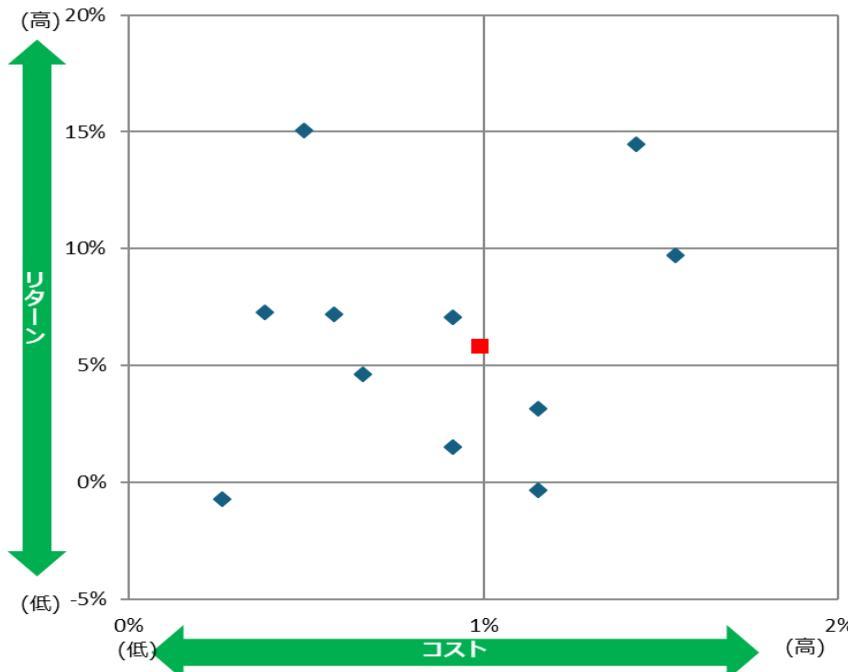
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

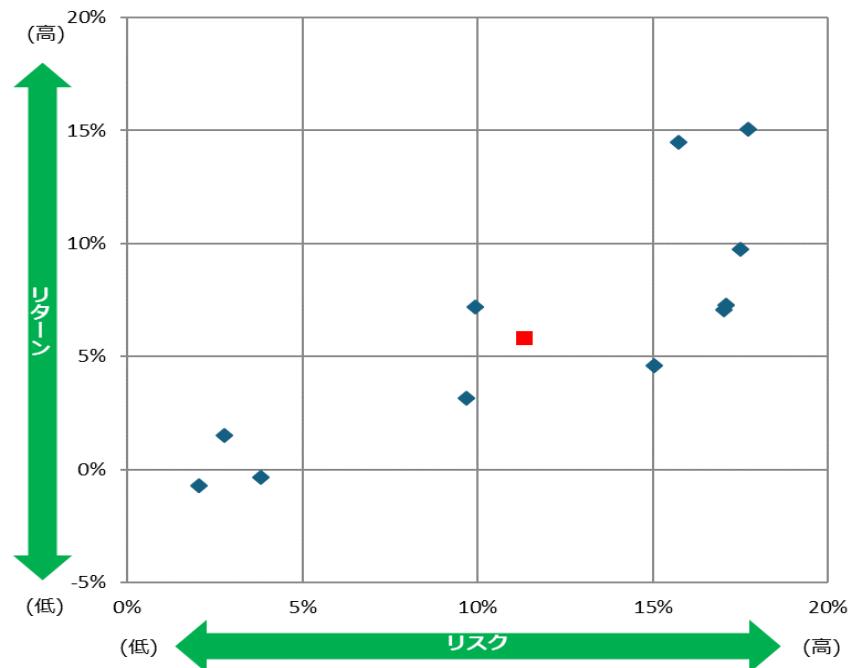
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.99%、平均リスク11.35%に対して、平均リターンは5.80%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
6	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
7	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
8	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
9	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
11	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
12	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
14	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
16	J-R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
17	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	0.42%	4.12%	1.46%
18	J-R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.00%	10.96%	0.66%
19	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
20	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.88%	13.96%	0.84%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
6	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
8	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
10	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
11	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
12	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
13	J-R-E-I-Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
14	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
15	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
16	J-R-E-I-Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
17	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
18	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.34%	14.06%	0.85%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
3	J-REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.62%	15.04%	0.66%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
6	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
7	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	1.52%	2.76%	0.91%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
11	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.72%	2.06%	0.26%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		5.80%	11.35%	0.99%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。